



5年生

先生紹介のインタビューを分析し、よりよいインタビューを行って、全校のみんなに発信しよう

「インタビューの分析を通して話す力・聞く力を高める」授業づくり

1 「インタビューを分析する」って何だろう？

高学年を迎えた子どもたちは、低・中学年の時期に、国語科・生活科・社会科・総合的な学習の時間など様々な学習活動の場面で、インタビューするという言語活動を体験してきた。しかし、計画したことを一問一答型で質問するのがやっとなりで、詳しく聞いたり、流れによって質問を加えたりすることも難しい。まして相手のよさを引き出すようなインタビューはまだまだできない段階である。また、インタビューをするという学習活動はしてきたが、インタビューの内容が適切なものだったかどうかを振り返る学習活動は少なかったのではないだろうか。

そこで、高学年を迎えた今、自分たちの行ったインタビューを記録に残して分析する学習を取り入れる。インタビューの内容や進め方で、聞き取ることのできる内容が変わることを実感させたい。充実したインタビューができれば、その情報から自分の考えをまとめ、発信することに役立つ。この学習は、高学年の入り口の早い時期に設定することをお勧めする。自分たちのインタビューの仕方がどうだったかについて評価し、それをもとに再度インタビューする学習を設定することは、今後のインタビューの質を向上させるだろう。



2 「インタビューの分析」を取り入れた学習を紹介！

ここでは、導入部分から、インタビューの分析までの流れを紹介する。インタビューした後の発信は書くことの学習活動、話すこと・聞くことの学習活動等、様々に展開できるだろう。

先生紹介のインタビューを分析し、よりよいインタビューを行って、全校のみんなに発信しよう

(1) インタビューで大事なことを話し合う。

- ・相手の下調べと質問の計画
- ・あいさつ・お礼、目的の説明、適切な言葉遣い
- ・反応を返すこと、聞き返すこと
- ・流れによる質問の追加、変更 等

(2) グループごとに先生紹介のためのインタビューでの質問を計画し、役割を決める。

(3) インタビューを行い、インタビュー場面を記録する。 ・録音やビデオ撮影の依頼

(4) インタビューの場面を確認しながら、自分たちのインタビューがどうだったか分析し、評価する。

(5) 自分たちの評価をもとに、再度、先生紹介のためのインタビュー計画を立てる。

- ・同じ先生への追加インタビュー
- ・別の先生への新インタビュー

(6) インタビューを行い、前回と比べながら、分析し、評価し、紹介内容をまとめる。

3 各教科等や生活場面への言語活動の広がり

ここで身に付けた力は、インタビューしたことをまとめて資料としたり発信したりする学習活動の場面で発揮される。例えば、5年生の社会科では、農業・水産業・工業などの学習が組み込まれているので、地域性に合わせて、実際にインタビューなどを取り入れることができれば、より生きた学習として展開することができる。総合的な学習の時間も然りである。

学習場面のみならず、インタビューの時に行った、話し手に反応を返すことやわからないことを聞き返すこと、相手の反応を見ながら質問を追加したり変更したりすること、あいさつや場に応じた適切な言葉遣いをするなど、日常生活のコミュニケーション場面でも大切な要素である。教科や場面を変えながら経験を積んでいくことによって、日常生活の中で生きてはたらく言葉として発揮されていくであろう。